

自己評価票

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域のなかで福祉・介護の重要な役割を果たし、地域社会に貢献するという意識をもって活動している。	○ 地域の密着型サービスとしての独自の理念を具体化して共有し、その実践に向けて努力する。
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	職員が運営理念を理解し、賛同しており、その理念の実践に向けて、話し合いながら日々努力している。	
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	地域のなかで、そこに根ざしたサービスを提供し、地域に貢献したという思いは、家族や地域の人々の理解を得ている。	
2. 地域との支えあい			
4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	散歩の時などに、気軽に声をかけ合ったり、話しをしたりしている。また、敷地内に喫茶店があり、気軽に立ち寄ってもらい、利用者と交流できるように努めている。	
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域の行事や老人会、運動会等に参加している。また、夏場には、盆踊りの会場として苑の駐車場を提供するなど、地域との交流に努めている。	○ 地域の行事だけでなく、自治会等にも参加したい。

岐阜県 グループホームコスモス苑 赤とんぼ

	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	今のところ、具体的な話はしていない。	○	地域の高齢者等の役に立てるよう、取り組みを始めて行きたい。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価および外部評価で改善すべき問題点を話し合い確認し、具体的な改善に取り組んでいる。		
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議で、利用者家族や市職員、自治会長、民生委員などの意見を聞き、サービス向上に行かすよう努めている。	○	まだ始めたばかりなので、これからより内容のある充実した会議にしたい。
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市の担当者に相談したり、アドバイスを受けるなど、定期的に行き来する機会をつくっている。		
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	管理者は、権利擁護に関する制度についての講習会等により、学んでいるところである。また、必要な利用者には、その制度を利用して支援できるよう、準備を進めている。	○	職員も含め、制度に関する知識を深め、活用できるようにしたい。
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待が見過ごされないよう注意を払い、防止に努めている。		

岐阜県 グループホームコスモス苑 赤とんぼ

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	事前に、また契約締結時および解約時には、不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行なっている。	
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	日頃から、職員は利用者に話しかけ、不満や苦情を聞くよう努めている。また、管理者と職員が話し合い、運営に反映させている。	
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	家族には、毎月苑便りを送り、苑の様子を報告している。また、個々の利用者については、その状態を、担当者が家族に報告している。また、何かあればその都度報告している。	○ 職員の異動など、より詳細に報告する。
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族会や面会時に、できる限り家族の話を聞くようにしている。そして、苦情等があったときは、職員で話し合い、迅速に対応するよう努めている。	○ あまり面会にこられない家族に対しても、こちらから定期的に連絡を取り、意見や不満を聞くようにする。
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	ケア会議、勉強会等において、意見や提案を聞き、それを運営に反映させるよう話し合っている。	
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	利用者の状態の変化等に応じて、勤務時間や勤務者を変更するなど、柔軟に対応している。	

岐阜県 グループホームコスモス苑 赤とんぼ

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでいき きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
18	<p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>異動や離職を必要最小限に抑えている。</p> <p>○</p>	<p>利用者へのダメージを防ぐ、より深い配慮をするよう努める。</p>
5. 人材の育成と支援			
19	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>管理者および職員は定期的に研修を受けている。</p> <p>○</p>	<p>内部での計画的な育成システムを充実させたい。</p>
20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>現在、同業者と話し合いながら、ネットワークづくりや交流会、勉強会を計画している。</p> <p>○</p>	<p>地域の同業者と、より緊密な関係を築きたい。</p>
21	<p>○職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	<p>職員同士の懇親会や旅行を計画し、行なっている。</p>	
22	<p>○向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>	<p>職員個々の努力や実績を考慮し、各自が向上心をもって働けるよう配慮している。</p>	

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	入居前に何度か面談し、本人から様々なことを聞いて、不安を取り除き、本人の希望にそえるよう努めている。	
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	家族ともできる限り面談し、話しを聞く機会をもうけ、家族に安心してもらえるよう努めている。	
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談を受けたときには、まずどのようなサービスが必要なのか十分に話し合い、系列施設のサービスの利用も含め、その状況に合った対応をしている。	
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居前に、できる限り本人や家族の話を聞き、職員と話し合いながら、利用者の状態や性格に応じて工夫している。	
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員が、利用者を同居している家族のような意識を持って接するよう努めている。生活全般において、共に助け合いながら生活できるよう、職員が利用者に教えてもらったり、助けてもらうよう働きかけている。	○ 単なる技術や知識だけでなく、心のケアにおいても、質の向上をめざしたい。

岐阜県 グループホームコスモス苑 赤とんぼ

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	利用者に関して、わからないことなどは家族に聞いて相談し、共に本人を支えていけるよう協力している。	○	家族とのより緊密な関係を築きたい。
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	利用者と家族の橋渡しができるよう、両方の意見を聞きながら、支援している。		
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	できる限り本人の馴染みの店を利用したり、馴染みの人に遊びに来てもらったり、こちらから訪問したりしている。		
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	入浴、食事、散歩、レクなど、お互いに声をかけて誘い合ってもらおうよう、職員が配慮しながら支援して、孤立しないよう気を付けている。		
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	今のところ、契約終了後にも継続的に関係を持っているケースはないが、必要などときにはその関係を大切にしたいと考えている。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
1. 一人ひとりの把握			
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	本人や家族の話聞くことはもちろん、前に利用していた施設等からの情報をもとに、日々の生活のなかで、利用者を言動などを見ながら職員で検討して、一人ひとりの希望、意向を把握するよう努めている。	
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	家族等からの情報だけでなく、日々の会話のなかで利用者のこれまでの生活環境等を聞き出し、把握するよう努めている。	
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	現在の状況や過去の状態を、記録を参照しながら、職員の様々な意見をもとに総合的に判断し、把握するよう努めている。	
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	家族や本人に相談しながら、様々な観点から課題や問題点を出し合い、それについて職員が話し合いながら、その意見やアイデアを介護計画に反映させ、作成している。	○
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画には到達目標が明示され、適切な時期に見直しを行い、状態の変化があれば、その変化に応じた見直しを、随時行なっている。	

岐阜県 グループホームコスモス苑 赤とんぼ

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38 ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	職員が、一人ひとりの状態を把握するために、日々詳細に記録し、その情報を介護計画に活かしている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援			
39 ○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	系列施設との連携、協力を図りながら、柔軟な支援をしている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
40 ○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	ボランティアには頻繁に協力してもらっている。	○	さらに本人の意向や必要性に応じて、様々な機関との連携を深めたい。
41 ○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	現在、他のケアマネジャーやサービス事業者に相談したりしているが、実際に他のサービスを利用するケースは少ない。		
42 ○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	具体的に、地域包括支援センターとの協働は、今のところない。	○	今後、積極的に協力し、より総合的な支援をめざしたい。

岐阜県 グループホームコスモス苑 赤とんぼ

	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人や家族の希望に沿うように、支援している。		
44	○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	理事長が医師として、指示や助言を行いながら支援している。		
45	○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	看護職員や系列の医院の看護師が、本人や職員の相談にのりながら、日常の健康管理等の支援をしている		
46	○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	入院時には、提携医療機関との情報交換等に努めている。		
47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	早い時期での方針決定を具体的に進めてはいない。	○	早い段階での対応を充実させ、実際に重度化した場合や終末期に寄り良い支援が出来るように、その方針を早い時期から共有したい。
48	○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	事業所できることをしっかりと見極め、できる限りの支援が行なえるよう取り組んでいる。		

岐阜県 グループホームコスモス苑 赤とんぼ

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
49 ○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	話し合いや情報交換を行なっている。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50 ○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	個人の誇りやプライバシーは最大限尊重されなければならないという意識を職員が持ち、言葉かけや対応、個人情報の取り扱いに関して配慮している。		
51 ○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	利用者ができる限り自己決定できるよう、職員は一人ひとりの状態や性格に合わせて、本人働きかけたりしながら支援している。		
52 ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	状況や時間帯によっては利用者の希望にそえない時もあるが、できる限り一人ひとりの利用者のペースを大切にし、希望にそった支援を心がけている。	○	やむを得ず利用者のペースに合わせるができない時があっても、その後しっかりとフォローする。
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53 ○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	普段から利用者の身だしなみには気をつけ、美容院等も希望に合わせて利用できるよう支援している。		

岐阜県 グループホームコスモス苑 赤とんぼ

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	献立は、専門の管理栄養士が立てているが、食事の状況や好みを詳細に伝え、献立に活かしている。また、買い物や調理、後片付けも利用者の状態に合わせて、できる限り一緒に行なうようにしている。	○ 利用者によっては、思うようにやってもらえない場合もあるが、強制にならないように、自発的に手伝ってもらえるような環境を職員がつくるようにする。
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	好みの物を日常的に楽しんでもらえるよう、一人ひとりに聞き、一緒に買い物に行ったりしながら楽しめるよう支援している。	
56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	できる限りおむつやパットの使用を少なくするように、一人ひとりの排泄パターンを記録し、それを把握して、トイレ誘導や声かけをしながら、支援している。	
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	介助の必要な利用者が多く、曜日や時間帯をある程度決めておかざるを得ないが、できる限り希望にそうようにしている。また、くつろいだ入浴ができるよう配慮している。	○ まったく曜日や時間帯を決めずに自由に入浴していただくのが理想だが現状では難しく、一応決めておいて、その日の状況によって、希望やタイミングに合わせて柔軟に対応する。
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	個々の生活・睡眠パターンを把握し、休息、睡眠、起床の支援を行なっている。日中のメリハリある生活や適度な運動をしてもらうことにより、夜間の安眠を確保するよう支援している。	
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	一人ひとりの趣味や特技を活かせるよう、絵を描いてもらったり、園芸やゲーム、歌、料理など、個々の力を活かしてもらえるよう支援している。また、花見、誕生会、ゲーム大会等イベントを開き、楽しんでもらえるよう支援している。	○ さらに、一人ひとりの生活歴や特技、能力を活かしてもらえるよう、もっと詳しく家族や本人の話聞いて職員で話し合いながら、楽しみや喜びを感じる生活をおくってもらえるよう支援する。

岐阜県 グループホームコスモス苑 赤とんぼ

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	金銭管理の可能な方には、個人で管理してもらうよう、本人の力に合わせて支援している。		
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	散歩やドライブ、買い物などに行くようにしている。またそれ以外にも、天気の良い日には中庭でお茶を楽しむなど、戸外に出るよう支援している。		
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	利用者の希望を聞きながら、定期的に、普段は行けない所に行くようにしている。		
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	本人の希望通り自由に電話をしたり、手紙を出したり出来るよう支援している。	○	諸々の事情から家族が拒否することもあり、その場合は家族の意向に従ってしまうが、こちらから家族に説明し、本人と電話で話してもらえるよう支援することも必要である。
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	訪問してくれた方に心地よく過してもらい、また来てもらえるよう配慮している。	○	まだ来たことのない人も訪問してもらえるよう、利用者に手紙をだしてもらうなど、積極的に支援したい
(4)安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	禁止の対象となる具体的な行為が重大な人権侵害であることを理解し、身体拘束のないケアを実践している。		

岐阜県. グループホームコスモス苑 赤とんぼ

	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	常に鍵をかけないで、開放的な空間で自由に過ごしていただくよう、運営者及び職員が話し合いながら実践している。		
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	プライバシーに配慮して、さりげなく見守りながら利用者の安全に配慮している。		
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	職員が日々の生活の中で観察しながら、本当に危険な物と注意すれば問題のない物を峻別し、必要以上に危険性のある物品を利用者から奪うことのないよう配慮している。		
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	事故等の危険のある利用者に対しては、毎日のミーティングにおいて、職員がその状態に応じて事故を防止するための方策を確認し、注意を払いながらケアしている。		
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	緊急時には、隣接する医院に連絡することになっているが、職員の応急手当等の訓練は行っていない。	○	利用者の急変や事故発生に備え、全ての職員に対し応急手当や初期対応の訓練を定期的に行なう必要がある。
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	災害時の避難方法を職員同士で確認している。また、地域の人に災害時の協力をお願いしている。	○	災害対策を徹底する必要がある。

岐阜県 グループホームコスモス苑 赤とんぼ


項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
72	<p>○リスク対応に関する家族等との話し合い</p> <p>一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている</p>	<p>リスクについて、家族に説明し、相談しながら対応策を話し合っている。</p>	
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
73	<p>○体調変化の早期発見と対応</p> <p>一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている</p>	<p>毎日のバイタルチェックや食事量のチェック等を行いながら、日々の体調を把握し、異変があった時は、その情報を職員が共有し、医師に相談するなどして対応している。</p>	
74	<p>○服薬支援</p> <p>職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>使用する薬について医師から説明を受け、その目的や副作用、用法や用量について理解し、個別に服薬等の台帳を作成し、支援と症状の変化の確認に努めている。</p>	
75	<p>○便秘の予防と対応</p> <p>職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる</p>	<p>栄養士や医師と相談しながら、献立に繊維質の食物を多く採り入れたり、適度な運動を勧めるなど、一人ひとりに合わせた便秘対策を行なっている。</p>	
76	<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている</p>	<p>毎食後、口の中の汚れが生じないように、口腔の清潔を保つための支援を行なっている。</p>	
77	<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>食べる量や水分量は細かくチェックし把握しながら、適量を摂取できるよう支援している。栄養バランスは、栄養士と相談しながら支援している。</p>	

岐阜県 グループホームコスモス苑 赤とんぼ

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでいき きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	マニュアルを作成し、医師の指導のもと、実行している。		
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	台所、調理器具、食材等については、細心の注意をはらい、衛生管理に努めている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関周りや中庭に花や樹木を植え、ベンチを置いて気軽に休んでもらえるようにしている。		
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節の草花や絵を飾ったりして生活感や季節感を採り入れ、心地よく過せるよう工夫している。		
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	フロアにソファが置いてあり、それぞれの人が自分の居場所を確保し、気の合った利用者同士で思い思いに過せるよう配慮している。また、独りで過す場所も確保している。		

岐阜県 グループホームコスモス苑 赤とんぼ

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	○	<p>家族や本人が何も希望されず、必要最小限の物品しか持ち込まれない場合もあるが、その時は、職員が家族や本人に働きかけながら、より心地よく過ごせる居室になるよう配慮し支援する。</p>
84	<p>○換気・空調の配慮</p> <p>気になるにおいや空気の上みがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている</p>		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
85	<p>○身体機能を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>		
86	<p>○わかる力を活かした環境づくり</p> <p>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している</p>		
87	<p>○建物の外周りや空間の活用</p> <p>建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている</p>		

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

V. サービスの成果に関する項目		取り組みの成果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
項目		
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○ ①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらいの ③利用者の1/3くらいの ④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○ ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○ ①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○ ①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない

岐阜県 グループホームコスモス苑 赤とんぼ

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の2/3くらいが <input type="radio"/> ③職員の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の2/3くらいが <input type="radio"/> ③家族等の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

自然に囲まれた静かな環境の中で、地域社会との交流を深めながら、その一員としての意識をもってもらい、日々の生活の中で生き甲斐をもって生活していただけるような心細やかな支援を目指している。

医療法人社団福寿会として、グループホームの他に、小規模多機能型居宅介護、特定施設入居者介護、短期入所生活介護、居宅介護支援のサービスを行っており、それらの施設と連携をとりながら、利用者や家族の希望にそった、個々の利用者に適したより細やかなサービスの提供を目指している。